

平成27年度 親子ふれあい農業体験学習

稲刈り体験 9月27日(日)8時30分 10月4日(日)8時30分

田植えから今日までの作業

①7月、8月頃 草刈り、水草取り、水入れ

田植え後は、あぜなどの草がどんどん成長していきますので、草刈り作業などをします。

なぜ、草刈りをする必要があるの？それは害虫などが発生し、稲に移る場合があるからです。稲が大きくなってきたら、水を1回ぬきます。田んぼを干すことによって、根のはりを強くします（土用干しともいいます）。そうすることで稲はどんどん立派に育っていきます。



白いお花を
咲かせます。

この間にも、稲が病気にならないよう薬剤を散布し、カメムシなどの稲を狙う害虫 から守ります。また、稲もほかの植物と同じように花を咲かせます。ですがその時間はなんとわずか2時間ほどしかありません。



もちこめ
みんなの餅米

稲刈りまで

頑張って守るよ！！

今日の作業（稲刈り・はさがけ）

① 9月27日 10月4日 稲刈り・はさがけ

☆本日のタイムスケジュール☆

8:30~8:45

作業説明、参加者準備

8:45~12:00

刈り取り作業・はさがけ作業

12:00~13:00

食事

13:00~終わるまで

刈り取り作業・はさがけ作業・片づけ

さあ、今日は稲刈り作業です。

気をつけよう！

- ・あついで、こまめに水分をとろうね。
- ・走り回ったり、怪我をしないようにしようね。
くつしたは必ず、はくようにしてね。
- ・他の人の田んぼには入らないでね。
- ・あぜなどの草で足をつかないために、長靴などをはいてね。
- ・トイレには余裕を持って行くようにしようね。
- ・鎌は振り回さないでね。
- ・稲の葉で目をつかないようにしてくださいね。

鎌を持って田んぼに入ろう。前の人を押さないでね。2~3本しか植えてなかった苗がたくさんになっているね。



稲刈りの時、鎌で手や足を切らないように注意してください。左手で稲の下から20センチくらいの位置を持ち、右手にかまを持ち、土から2・3センチくらい上のところを刈ります。この時、土を切らないようにしてください（土を切ると、株に土がつき脱穀した粳に砂や石が入ります）。刈るコツは、のこぎりで木を切るように（ごしごと）刈ります。

3株から 5株刈り、株をそろえてクロスしておきます。株をそろえるのは、次の作業をしやすくすることと、脱穀の位置を一定にし、収量を多くするためです。刈った株は、踏まないようにしましょう。大切な餅米です、踏んでしまうと粳が土で汚れたり、取れてしまいます。



紐でくくる前の状態です。この時点で4対6に割ります。このようにしておくと、はさがけ(だてがけ)の時くくった束を簡単に割ることができます。



紐できつく、くくります。ゆるくくくると、かけるときにばらけたり、乾燥中に落下します。



はさがけする^{とき}は、くくった^{たば}束を、4対^{たい}6くらいに割ります。



い^{いな}ほ^ほした^{した}
稲穂を下にしてかけます。

② これからの作業^{さぎょう}

稲刈りの後の稲は、はさがけ(だてがけ)して2週間ほど天日干しにします。しっかりと乾かしておいしい餅^{もち}米にします！しっかりと乾燥できたら、脱穀(稲^{いね}扱^{さく}きともいいます)をします。簡単^{かんたん}にいうと、はさがけにしている刈り取った稲の束を籾^{もみ}とワラに分ける作業です。ワラはお正月のしめ縄^{しめなわ}作りに使うので大切にとっておきます。臼^{うす}ひきでは、籾^{もみ}すりを行い、「玄米^{げんまい}」と「籾殻^{もみがら}」に分けます。このあと、玄米を精米^{せいまい}(胚^{はい}や種皮^{しゅひ}をとる作業)すると白米になります。餅米はこの後、蒸してから臼^{うす}と杵^{きね}で餅つきをすれば、おいしいお餅^{もち}ができます。餅つきが楽しみですね☆

もち餅つきは、11月23日(月・祝日)北コミュニティセンターでおこな行います。